

福島ロータリークラブ会報

【事務所】福島市栄町 5-1 ホテル辰巳屋 7F 【例会日】木曜日 12:30
【TEL】024-524-1010 【FAX】024-524-1011 【mail】f-rotary@guitar.ocn.ne.jp info@f-rotary.com

RI 2015-16 のテーマ



世界へのプレゼントになろう

2015-16 RI 会長
K.R. ラビンドラン

本日の
プログラム

- ・ **ゲストスピーチ** 福島大学 子どものメンタルヘルス支援事業推進室
室長 総務担当副学長 **功刀 俊洋 様** 特任助教 **中村 志寿佳 様**
- ・ **ガバナー補佐挨拶** RI 第 2530 地区県北第一分区ガバナー補佐 **鈴木 和夫 様**

会長あいさつ

第 12 回会長挨拶

幡 研一 会長



本日は台北文湖ロータリークラブとの友好クラブ締結式の参列について簡単に報告致します。詳しくは後日会報に特集号として報告致します。

先週 9 月 21 日から 24 日にかけて、台北を訪問してきました。(先発隊は 9 月 21 日～23 日) 台北松山空港には王 素蓉会長、郭 継勲創立会長、趙 縦新直前会長、方 瑞嵐国際奉仕委員長など 12 名の文湖ロータリーの会員が日本と台湾の国旗を掲げて出迎えてくれました。22 日、台北文湖ロータリークラブの例会で、両クラブの友好クラブ締結の調印式が行われました。RI3520 地区ガバナーの林 華明様を始め、台北市内 8 クラブの会長・幹事、台北東南ロータリークラブからは 7 名、福島ロータリークラブから 26 名、それに文湖ロータリークラブの会員等総勢 100 名程度の参列の下、厳粛に締結式が行われました。

日本、台湾両国の国歌斉唱、ロータリーソングに始まり、RI3520 地区、林 華明ガバナー、RI2530 地区、阿久津 肇パストガバナーの挨拶や、両クラブの会長の挨拶等の後、調印式が行われました。その晩は文湖ロータリークラブ主催の歓迎会が行われました。文湖ロータリークラブは年齢層が福島より若く、舞台上で歌って踊ってしながらカラオケ大会の様でした。ガバナーも張り切って歌っておりました。福島ロータリークラブの参加者も負けずに歌って踊っておりました。翌日の福島ロータリークラブ主催の食事会では、両クラブの面々は、すでに旧知の間柄のように盛り上がり、各テーブルでは乾杯の大合唱でした。両クラブの最初の



例会次第

開会点鐘 幡 研一 会長
国歌斉唱、ロータリー・ソング「奉仕の理想」
ソングリーダー 後藤洋伸 会員



「四つのテスト」唱和

職業奉仕委員会 佐藤康太郎 会員



＊お隣の方と「好意と友情」の握手
お客様並びに来訪ロータリアン紹介
10 月誕生祝い

会長あいさつ 幡 研一 会長



食 事

幹事報告 箱岩 偉 幹事



各委員会報告

●プログラム・ニコニコ BOX 小委員会

ニコニコ BOX 担当 今井 康 委員

◎本日のプログラム

閉会点鐘 幡 研一 会長

出会いとしては大成功と思いました。今後お互いの友好を深めて、国際奉仕事業をしたいと思えます。

来年 3 月の福島ロータリークラブ創立 65 周年記念式典での再会を約束してきました。帰日も松山空港まで多くの会員が見送りをして頂きました。

なお、今回の台風 21 号の被害について先日問い合わせたところ、台北ではそれ程大きな被害はなかったと林ガバナーや王会長、方国際奉仕委員長からメールを頂きました。

本日のプログラムは、福島大学子どものメンタルヘルス支援事業推進室の功刀 俊洋 室長兼総務担当副学長と中村志寿佳 特任教授のスピーチ、それに、RI2530 地区県北第一分区ガバナー補佐 鈴木和夫様のスピーチとなっております。宜しくお願い申し上げます。



本日のプログラム①

ゲストスピーチ

福島大学 子どものメンタルヘルス支援事業推進室
室長 総務担当副学長 ぐぬぎとしひろ 功刀 俊洋 様



昨年度に引き続き、福島大学の子どものメンタルヘルス支援事業の活動の趣旨に賛同いただき、活動費のご寄附をいただきましたこと、厚く御礼申し上げます。

福島ロータリークラブ様からのご寄付を受け、今後の活動が、より発展的なものになるよう事業に取り組んで参る所存です。今後とも暖かいご支援を賜りますよう何卒よろしくお願い申し上げます。

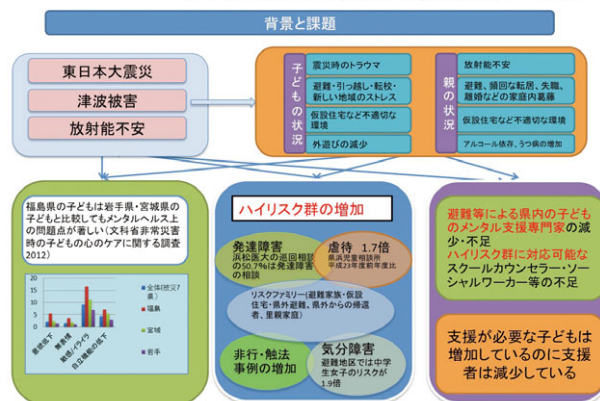
子どものメンタルヘルス 支援事業推進室の活動

なかむら しずか 同 特任教授 中村 志寿佳 様

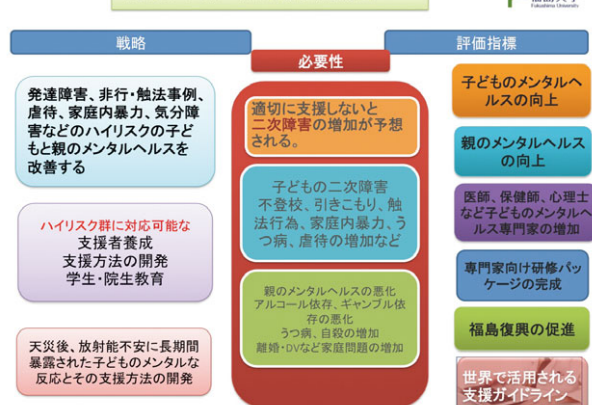


* 中村先生よりスライド使用によるスピーチをいただきました。

福島大学 子どものメンタルヘルス支援事業 —ハイリスクな子どもと家庭への支援の在り方—



子どものメンタルヘルス支援事業推進室



福島大学子どものメンタルヘルス支援事業推進室の活動

より多くの学校で実施するための広報が必要



福島の子どもと親のメンタルヘルスを守る！！

心の教育プログラム(こころの授業)

- 問題が起こってから対処するのではなく、心の回復力や現実の対処能力を上げ、安定を図る予防的プログラム
- 児童生徒の自己評価を上げ、適応的な視点での自分の生活の立て直しを考えていくための取り組み →自分のできているところをしっかりと見る
- ネガティブな感情を別の感情に切り替えることは可能で、楽しい体験を想起することでよりよい状態になることを知る
- 調子が悪くうまくいかない場合は大人に助けを求めてもいいことを知る

(※プログラムは、浜松医科大学、中京大学の教員らが作成し、H23年7月から実施)

こころの授業の内容

- 小学1年～高校3年まで、クラス単位・授業形式で行う
- Unit 1 からUnit 3 までステップアップした授業

Unit1: 自己肯定感を高める、気持ちの切り替え

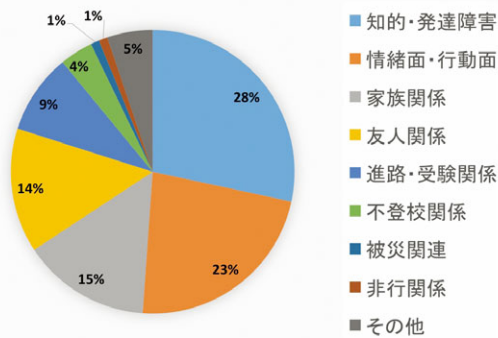
Unit2: 怒りのコントロール、ネガティブ思考への対処法

Unit3: 考え方のクセ、考えの幅を広げる

学校巡回相談

- 対応困難な気になる生徒に対して
 - ①本人や保護者への面談
 - ②教職員の生徒への対応に関するコンサルテーション・事例検討会
 - ③授業や自由時間の行動観察
 - ④心理検査(知能検査・簡易検査等)の実施
 - 児童精神科医と臨床心理士がチームで学校訪問
- ※診察や診断は行わず、面談として実施

2014年度巡回相談内訳



ある日のペアレント・プログラムの活動・・・



こころの授業・巡回相談時の学校訪問・・・



ペアレント・プログラム

ペアレント・トレーニング (ペアトレ)

応用行動分析 (ABA) を基本に、目標行動の設定、行動の機能分析、環境調整や子どもへの肯定的な働きかけを習得していく支援技法。より高度で専門的な技法を学ぶ。

ペアレント・プログラム (ペアプロ)

ペアトレの入門編。「行動で考える／行動で見る」ことに特化し、保護者の認知的な枠組の修正を目指したプログラム。

ペアプロの三本柱

- 「行動」で考える
現状把握表 (いいところ・努力しているところ・困ったところ) を利用し、行動を具体的に述べる
- できたことをほめて対応する
褒めることで、子どもの適応行動を強化する
- 保護者の子育て仲間をみつける
同じような悩みを持つ親同士のかかわり、ペアワークによる交流を通して、子育て仲間を見つける機会となる

ペアプロの実施内容

- ・幼児～中学生程度の子どもの保護者が対象
- ・現在まで、会津、南会津、相馬、南相馬、いわき、本宮、郡山、須賀川、西郷等で実施
- ・地域の支援者 (保育士・福祉施設の職員・保健師・教員等) がペアプロの指導者として実践できるように研修会を兼ねている

本日のプログラム②

ガバナー補佐スピーチ

県北第一分区ガバナー補佐

鈴木 和夫 様



会員増強・一つの考察

国際ロータリーは、2010年に「ロータリー戦略計画」を発表しました。概要は、3つの優先項目と5つの中核的価値観から成っています。これは誰がRI会長になっても変えることのできない大切なものです。その優先項目の一つに「クラブのサポートと強化」があり7つの内容が述べられています。その中に、「会員基盤の多様性を推奨する」、「会員の勧誘と維持を改善する」そして「ダイナミックな新クラブを結成する」があります。

今日は、RIがどんなことを考えて会員増強を計画しているか、その一端を見てみたいと思います。

会員増強は、毎年ガバナーが第一の目標に掲げます。私たちの一般的な認識は、職業分類と会員の多様性を大切に考え、RIが発行している「**新会員の推薦はかにするかステップ1・2・3**」の推薦用紙に記入してクラブ幹事に提出するものです。

会員増強は、新会員の勧誘、退会者を防止する会員の維持、そして新クラブ結成の3つの要素からなります。今現在、RIが試行している会員増強試験的プログラムを私たち会員は、どのように受け止めるべきかを考えることが必要ではないでしょうか。

『ロータリーの友2014年5月号』にRI指定記事「**ロータリアンのための会員の入会と維持入門**」が掲載されました。この記事と更に My Rotary などからわかることを紹介します。

過去10年間、ロータリーの会員数は約120万人の横ばい状態が続いています。このことはこの10年間で、入会した会員と同じ数だけ会員が退会したことを意味しています。現在、ロータリー会員数は停滞どころか、多くの地域で減少しています。一番新しい

RIの発表では2015年5月31日現在の会員数は1,235,536人です。日本は、1996年11月末で130,982人が最高でした。直近のデータでは今年の6月で87,462人、なんと43,520人も減少しています。

それでは我が第2530地区はどうでしょうか。ロータリージャパンのロータリー関連資料から見るができます。1995年から2015年のデータが載っています。最高の会員数は1997年6月末で3,273人、最低は2012年6月末で2,245人となっています。この15年間で1,000人以上が減少しました。直近のデータでは2015年6月末で2,330人、新年度の7月末で2,349人です。この数はガバナー月信9月号に載っています。

RIは、ロータリーが直面している課題、そしてクラブでの新会員入会と会員維持を支援する300万ドル(3億6千万円)かけた取り組みを行っています。ロータリーでは現在、会員の積極的参加と入会を促す方法を模索するために、世界700クラブが参加して、4種類の試験的プログラムが進行しています。この試験的プログラムは2011-12年度から始まり、延長されて2016-17年度まで続けられます。RI理事会は会員増強に向けた世界均一なアプローチが必ずしも成果を上げる有効な方法ではないと判断しました。そこで考えられたのが「**地域別会員増強計画**」です。日本でも**2015-16年度地域別会員増強計画**を作り実践中です。

ポリオ撲滅後は、会員増強が最優先課題となるかもしれないと言われています。全世界の会員数が伸び悩み、多くの地域で会員が減っている現在、ロータリーのリーダーたちは、数々のプランを立て、組織の刷新に努めています。**ロータリー刷新に向けた300万ドル計画・700のクラブが試す入会と積極的参加を促す新しい方法**は、全クラブがロータリーの発展に寄与するためのロードマップ―会員増強の未来像を描くもの―です。この試験的プログラムは2017年6月30日で終了しますが、RIはこれらの成果について私たちに報告するでしょう。そして私たちは、その報告を教訓としなければなりません。

このようにRIが、喫緊の重要課題として会員の維持と増強にいかにか四苦八苦、試行錯誤して取り組んでいるかを私たちは理解することができます。

地域別会員増強計画とは、会員の勧誘と維持を図るため、それぞれの地域の事情に合わせて立てられた計画です。一つの計画を全世界に当てはめることはできません。アメリカで成功した計画がほかの地域でうまくいくとは限りません。入会者にとって魅力あるクラブを作り、会員の所属意識を高める方法を見つけることができます。

4種類の試験的プログラムに世界16の地域で700のクラブが参加して行われています。その4種類の試験的なプログラムとは次のようなものです。これらはMy Rotaryの「**会員増強の地域別補足資料**」から見るができます。

1) 準会員試験的プログラム

このプログラムは、個人が一定期間内に正会員になることを視野に、ロータリークラブや会員と親交を結び、プログラムやプロジェクトに参加し、クラブ会員にどのようなことが期待されるのかを知る機会を提供します。

2) 法人会員試験的プログラム

このプログラムは、クラブの所在地域にある法人や会社が、定められた入会承認手続きを通じてロータリークラブの会員となり、クラブ例会に出席する人物を最高4名まで指定し、プロジェクトでの奉仕やクラブの事柄に関する投票を行い、クラブ役員やクラブ委員会の任に当たることを認めるものです。

3) 革新性と柔軟性のあるロータリークラブ試験的プログラム

このプログラムは、クラブ会員と地域のニーズにふさわしいクラブ運営を、クラブが独自に決定する裁量を与えることに主眼を置いています。クラブは標準ロータリークラブ定款とロータリークラブ細則に変更を加える許可が与えられますが、RI人頭分担金の要件に変更を加えることはできません。

4) 衛星クラブ試験的プログラム

このプログラムは、クラブが1週間の間に異なる場所、曜日、時間に、複数回の例会を行うことを容認するものです。衛星クラブは、新クラブの創設を支援し、人口の少ない地方や人口の多い都市部の地域社会のニーズに対応することを目的としています。

以上RIが試行している会員増強のための試験的プログラムを紹介しました。

同じくロータリーの友5月号の30ページにはロータリー衛星クラブについての説明文が載っています。そこには『**衛星クラブ試験的プログラム**』と『**衛星クラブ**』の違いが、次のように説明されています。また2013年版の手続要覧にも詳しく載っています。

『衛星クラブ試験的プログラム』

クラブが1週間の間に異なる場所、曜日、時間に、複数回の例会を行うことを認め、その影響を調べるものです。衛星クラブのロータリアンは、親クラブに所属し、異なる時間や場所で例会を実施することができます。遠隔地や大都市での効果が期待されるこのプログラムは、小規模なクラブ、弱体クラブ、問題のあるクラブに、活力のあるクラブの下で、指導や支援を提供するものとなります。

『衛星クラブ』

2013年の手続要覧には衛星クラブについて次のように載っています。「ロータリー衛星クラブは、いわば『クラブの中のクラブ』である。衛星クラブの会員は、そのスポンサークラブの会員でもある。衛星クラブは、スポンサークラブとは別に例会を開くが、通常のロータリークラブの規則に則って運営されなければならない

い。本要覧で言及されるロータリークラブには、特記されない限り、ロータリー衛星クラブも含まれる。」とあります。そして「この衛星クラブは、独立したクラブとなるまでの暫定的な形態です、とあり、新クラブを創立するためには、最低20人の会員を集めなければなりません。それだけの人数を集めるのに時間がかかってしまう場合、ロータリー衛星クラブとして準備を進めることができるでしょう。また、ロータリーの精神や規則、プロジェクトのあり方などを、新しいクラブの会員にしっかりと伝授したいという場合も、ロータリー衛星クラブとして、しばらく面倒を見ることができるでしょう。」と書いてあります。

衛星クラブ試験的プログラムに世界で116クラブが参加していますが、日本で参加しているクラブは、名古屋城北ロータリー衛星クラブの1クラブだけです。

RIの指導書「**会員増強ガイド 地域に合った計画を立てよう**」の「はじめに」には次の言葉が載っています。「世界各地のクラブによって、会員増強のアプローチは大きく異なります。それぞれのクラブや地区が、地元地域のニーズと慣習、最近の傾向や変化を認識し、それに沿った行動計画を立てることが大切です。強固な会員基盤は、クラブが地域社会や世界で活動するための土台です。クラブによる社会奉仕活動や海外での人道的支援活動を通じて、ロータリーに対する認識や理解が深まり、財団とそのプログラムへの支援も増えるでしょう。会員増強はロータリー全体の重要課題ですが、中でも重要な役割を果たすのがクラブです。」

このガイドは、第1章から6章まであり、大まかな内容は次のようなものです。

第1章 クラブの現状を評価する

第2章 クラブのビジョンを描く

第3章 入会の魅力を高める

第4章 会員の積極的参加を促す

第5章 新クラブのスポンサーとなる

第6章 クラブへのサポート から構成されています。

第5章の新クラブのスポンサーとなるには、次のことが書かれています。

スポンサークラブの資格と責務について

このことを十分に私たちは理解することが大切です。その全文は次のようです。「新クラブ設立の責任者となるのはガバナーですが、このプロセスにおいて重要な役割を果たすのがスポンサークラブです。クラブがこの役割を引き受ける前に、スポンサーの責務や新クラブ設立の手続きについて会員に十分説明し、協力する意思があることを確認します。」

スポンサークラブの資格について

新クラブにスポンサーをつけることは義務ではありませんが、強く奨励されています。スポンサークラブを選ぶにあたり、ガバナーと地区拡大委員会は、以下の条件を満たしているクラブを探します。

- ・新クラブ加盟後、少なくとも1年間は新クラブに指導を行うことに同意すること
- ・ロータリーに対して財務的に健全な状態にあること
- ・少なくとも20名の正会員がいること
- ・バランスのとれたロータリー奉仕プログラムを実施していること

新クラブの成功は、結成後の数カ月間に効果的な組織作りと運営ができるかどうかにかかっています。加盟が承認された後、スポンサークラブがアドバイザーとして1～2年間、指導することになります。

スポンサークラブの責務については次の通りです。

- ・新クラブの管理運営の計画や組織にあたり、ガバナーの特別代表を補佐する
- ・クラブ設立後1年間は新クラブのアドバイザーとしての役割を果たし、ガバナーからの要請に応じて、状況報告を行う
- ・ロータリーの方針と手続について新クラブに説明する
- ・合同で募金活動を企画する
- ・スポンサークラブの会長が、新クラブの理事会の第1回会議に、特別代表とともに出席する

新クラブにおいて会員が最も多く退会するのは、設立後2年目であることが調査で分かっています。同様に、新クラブが終結するのも2年目が最も多いことが分かっています。設立後2年目にスポンサークラブからの力強いサポートを受け、この時期を乗り越えることができれば、新クラブが強く、自立し、実り多いクラブとして発展していくことができるでしょう。

このように、スポンサークラブには、非常に強い意志と覚悟がなければなりません。「数は力なり」という言葉がありますが、ロータリーは違います。「新会員の勧誘」、「会員の維持」、「新クラブの結成」も大切です。しかしそればかりではありません。「会員基盤の向上」には、ロータリアン一人ひとりが「ロータリーの目的」、「四つのテスト」、「ロータリーの行動規範」、「中核的価値観」そして「ロータリー二大標語」などを実践できる能力も含まれると思います。会員増強と新クラブ創設はロータリーにとって永遠の重要課題ですが、私たちロータリアンは、「会員増強の真の意味」を十分に認識してクラブの発展に寄与しなければなりません。「仏作って魂入れず」の喩えもありますから十分な準備をして臨まなければなりません。秋の夜長、「会員基盤の向上」や「会員増強」について深く考える機会としたいものです。



お客様並びに来訪ロータリアン紹介

- 福島大学 ^{あいざわ ゆりこ} 會澤友里子 様 (役員室)
- 県北第一分区分区幹事 ^{この} 紺野 ^{しん} 信 様 (福島中央 RC)
- ビジター
呉竹 弘吉 様 (福島中央 RC)



幹事報告

お知らせ

- 本日 18:00 より石林にて 10月理事会を開催致します。
役員・理事の皆様宜しくお願い致します。

例会プログラムのご案内

10月22日(木) 12:30 ~ 辰巳屋

- 新会員スピーチ 日本銀行 中尾根康宏 会員
- 幡 研一会長スピーチ

10月29日(木) 12:30 ~ 辰巳屋

- 新会員スピーチ 損保ジャパン日本興亜 佐藤康太郎 会員
- パンダハウス理事長他

10月誕生祝い

丹治 正博 会員	昭和30年10月 4日
後藤 忠久 会員	昭和30年10月 8日
岡田 新也 会員	昭和48年10月12日
佐藤康太郎 会員	昭和42年10月16日
阿部 力哉 会員	昭和 7年10月23日
海野 卓哉 会員	昭和22年10月27日
清水 義之 会員	昭和32年10月31日

おめでとうございます



私のひとこと

丹治 正博 会員



神無月は神さまが不在？

今日から10月、神無月の始まりです。この語源は、全国の神様が一年に一度一斉に出雲に集まって会合することから、全国の神社では神さまが不在になるという説から来ています。この説はある意味正しいのですが、実際には全国の神社から神様がなくなる事はありません。矛盾していると思われるでしょう。その訳は話せば長くなるのですが、かいつまんで申し上げれば、「10月は、各神社でお祀りされている神様の御分霊(分身)が出雲に行かれる」と解釈すべきなのです。伊勢神宮の天照大御神様のおふだが全国9千万家庭に毎年まつられることからもお分かり頂けるでしょう。「神さまは分身の術がお得意」なのです。

ニコニコBOX報告 <報告>今井 康 委員

本日のニコニコBOX投入額 35件 ¥76,000 累計 ¥781,000

鈴木 和夫 ガバナー補佐、紺野 信 分区分区幹事

お陰様で第一四半期の大きな行事であるガバナー公式訪問、ガバナー歓迎晩餐会を無事に終えることができました。大変ありがとうございました。今日は第二四半期の仕事始めとなります。

阿久津 肇 PG

去る9月22日、台北文湖RCとの友好クラブ締結は両クラブの友愛溢れる雰囲気のもとで行われ、福島クラブにとっても新たな一頁を加えたことになりました。幡会長、後藤国際奉仕委員長のご尽力に感謝します。

幡 研一 会長

福大「子どものメンタルヘルス支援事業推進室」の功刀副学長、中村特任助教のスピーチに期待して。

分区分ガバナー補佐鈴木和夫様を歓迎して。

台北文湖RCと無事友好クラブの締結をしました。

八子英器 会員

台湾では1人参加の妻が、皆様に大変お世話になりました。

箱岩 偉 幹事

皆様の会にご出席に感謝して。10月誕生者の皆様に健やかで幸多きことをお祈りしております。功刀様、中村様を歓迎します。鈴木ガバナー補佐の来訪に感謝します。

丹治 正博 会員

本日、ゲストスピーチを頂きます、福島大学副学長 子どものメンタルヘルス支援事業推進室長 功刀俊洋様を心より歓迎

致します。福島クラブよりご寄贈申し上げた車が活躍しているとのこと大変嬉しく思います。

五阿弥安宏 会員

昨日、福島民友新聞社主催で地方創生のシンポジウムを開催し、大勢の方にご参加頂きました。国家的危機である人口減少にどう立ち向かうか。みんなで考えて行きましょう。

糠澤 修一 会員

10月の声と共に「家庭菜園」のゴーヤ・トウガン・モロヘイヤ・枝豆が終了、代わってハクサイ・キャベツ・大根・ほうれん草等の秋野菜が元気になってまいりました。菜園の片すみから“ふくしま再生”を感じ取っています。

清水 義之 会員

今日から赤い羽根共同募金が始まりました。アメリカ発祥でGHQとの関連があるなど、その歴史を調べるとおもしろいです。

他に／山内 功会員／阿部力哉会員／佐藤康太郎会員／林隆壽会員／加藤義朋会員／反後太郎会員／野原邦亮会員／白岩康夫会員／門脇 渉会員／有田吉弘会員／鶴丸直久会員／茂田士郎会員／森岡幸江会員／児玉健夫会員／田沼紀美子会員／佐藤武彦会員／増子 勉会員／坪井大雄会員／相良元章会員／藤井高志会員／中尾根康宏会員／佐藤英典会員／古俣 猛会員／今井 康会員／井上賢司会員